

千種高校展望

第88号(復刊第2号)

— 平成25年度活動の記録 —



兵庫県立千種高等学校

校訓：自立 信愛



林 柳正（正男）先生 書（校長室）



山部 一翠（一之）先生 書（会議室）



校訓碑 揮毫：第3代校長 樫本玉男 先生
寄贈：第11回卒業生一同（昭和61年3月）

校訓「自立・信愛」（昭和55年2月25日制定）

「校訓の「自立・信愛」の精神は、21世紀に生きる人間の指標でございます。自らに対しては厳しく律して立ち、他に対しては温かく敬愛し信頼し、ともに生きる人づくりのために、ますます努力してまいりたいと思います。」

第4代校長 上山 勝 先生

「学校開設40周年記念誌」（昭和63年11月27日発行）より抜粋

編集後記

『千種高校展望』第88号（復刊第2号）をお届けします。平成25年度も、千種高校は地域の皆様に支えられて様々なことに挑戦し、確かな足跡を残すことができました。すべての原稿を目の前にして、ひとつひとつの記録に思いを致す時、生徒たちの元気な姿、思い通りにいかなくて先生方が悩んでいた様子、ひとつの行事を終えて先生と生徒がハイタッチをして喜んでいたことなど、いろんなことが鮮やかに蘇ってきます。一年間の活動記録という性質上、その肉声をお伝えするのは中々難しいですが、各部署から原稿を寄せてくれた教員の想いを、行間から読み取っていただけたら幸いです。

平成22年4月に「連携型中高一貫教育校」に改編されて4年、本校は千種中学校と共に歩んで参りました。この『展望』に目を走らせてみても、「連携」というキーワードが随所に見られ、両校の教育活動における「連携」の比重の高さを如実に物語っています。更に注目すべきは、この千種町では「保幼小中高連携一貫教育」の柱が確立され、正に「連携教育の総本山」、他町には決して真似のできない実践の寶庫となっているということです。確かに、少子化の流れには抗えず、それぞれの学校園が小規模校であるのは事実ですが、それをプラスにとらえて「小規模校だからこそできること」を追求してきた結果ではないでしょうか。

平成25年度は、「千種災害対策プロジェクト」に取り組んだ画期的な年でした。千種町中心部の立体模型図製作はまだしも、9坪の木造仮設住宅など本当に作ることができるのだろうか、と大きな不安を抱えながらの船出であったのですが、その時々地域の皆様に支えられ、温かい声援をいただきながら、正に一步一步事業を進めることができました。中高の生徒たちも、壁パネルの製作などに意欲的に取り組んでくれて、いざという時には立派な地域貢献の力となれることを自ら証明してくれたのです。その様子が、少しでも記録から伝われば幸いです。

「朋有り遠方より来たる。また楽しからずや。」と言いますが、沖縄県本部町からの二度にわたる客人（まれびと）の訪問は、本当に嬉しい出来事でした。共に「連携型中高一貫教育校」を標榜する学校として、今後とも折りに触れて交流を図っていくことができればと思っています。

この『千種高校展望』第88号を本校第15代校長浅田尚宏先生に捧げます。この10年間のうち、実に7年間にわたって千種高校の為に力を尽くしていただき、千種中学校との連携関係を盤石のものとしていただきました。「和顔愛語」の言葉そのままに、いつも優しい笑顔と温かい言葉によって私たちを導いていただいたことに対しまして、心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本校の教育活動を常に支えていただいている地元千種の数多くの皆様、宍粟市立千種中学校、宍粟市教育委員会、兵庫県教育委員会の皆様に厚くお礼を申し上げます。

教頭 原田 尚昭

千種高校展望 第88号（復刊第2号）

—平成25年度活動の記録—

平成26年3月30日 印刷

平成26年3月31日 発行

編集 「千種高校展望」編集委員会

発行 兵庫県立千種高等学校 校長 浅田尚宏

〒671-3201 兵庫県宍粟市千種町千草727-2

TEL (0790)76-2033(代) FAX (0790)76-2233
